

Tris-Glycine SDSバッファークット

プロトコール

注意：LS-PAGEをご使用の場合はLS-PAGEに添付の説明書（I-320, LS-PAGE System）のプロトコールに従って操作してください。

1. Tris-Glycine SDS サンプルバッファークットには還元剤が含まれていません。還元条件で泳動する場合は、5 ml のTris-Glycine SDS サンプルバッファークット(2X)、に対して0.25 mlの2-メルカプトエタノール,または 0.1 g のジチオトレイトールを加えてから次の試料溶液を調製してください。還元剤入りサンプルバッファークットは使用時に新しく調製してください。
2. 試料と Tris-Glycine SDS サンプルバッファークット（ 2 x ）を（1：1）の割合で混合し、95℃で5分間加熱します。
3. Tris-Glycine SDS 泳動バッファークット（ 10x ）を蒸留水で10倍に希釈し、Tris-Glycine SDS 泳動バッファークット（1x）を調製します。泳動装置の上部および下部バッファークット槽にそれぞれ適量のTris-Glycine SDS 泳動バッファークット（1x）を注入します。上部バッファークット液はゲルカセットのウエル上端より3-4mm上の位置まで注入します。TEFCO セイフティーセルミニ, S T C-808の場合、上部バッファークット槽に約 200 ml、下部バッファークット槽に約 300 ml を使用します。
4. ウエルに試料溶液を添加します。タンパク質の負荷量はクマシーブルー染色を行う場合、通常 1バンド当たり 0.1 - 0.5 μ g が適量です。
5. 下記の泳動条件に従って泳動を行います。

泳動条件-1（定電流で泳動する場合）

電 流	:	18mA 定電流
予想電圧	:	開始時 : 70-100V
		終了時 : 160-210V
泳動時間	:	70-120 分

注意：定電流で泳動する場合、1.5mm厚のゲルは1mm厚の場合の1.5倍の電流値に設定します。同様に、ゲル2枚を泳動する場合は1枚の場合の2倍に設定します。予想電流と電圧、泳動時間は泳動バッファークットの温度により変化します。

2004/12/1

